

6. 血液内科（必修）

1. 一般目標（G I O）

代表的血液疾患について説明と診断が出来る。輸血療法について適応を判断することが出来る。

2. 具体的目標（S B O s）

- (1) 末梢血検査の結果を評価できる。
- (2) 骨髄穿検査について説明でき施行することができる。またその結果について理解できる。
- (3) 標準予防対策、接触感染対策、飛まつ感染対策、空気感染対策について説明できる。
- (4) 好中球減少時の発熱の検査と治療が計画できる。
- (5) 急性白血病の治療法について理解できる。
- (6) 悪性リンパ腫の分類と治療法を理解できる。
- (7) 貧血の原因を同定できて治療計画が立案できる。
- (8) 輸血療法について理解し治療計画が立案できる。
- (9) 造血細胞移植療法について理解できる。
- (10) チーム医療について理解し実践できる。

3. 方略

OJT (on the job training)

(1) 病棟業務

- 1) 当該疾患入院患者（5名程度）の担当医となり診療に従事する。
- 2) 期間中に施行される骨髄検査、中心静脈カテーテル挿入、腰椎穿刺、胸腔穿刺、腹水穿刺には参加できる。
- 3) 月曜日から金曜日の回診に参加できる。
- 4) 外来ならびに入院患者の輸血、抗がん剤投与を行う。

(2) カンファレンス

- 1) 毎週火曜日 16:30 から病棟カンファレンス、担当患者のプレゼンテーション
- 2) 外来新患カンファレンス

対応疾患

- ①急性白血病

- ②悪性リンパ腫
- ③多発性骨髄腫
- ④骨髄異形成症候群
- ⑤再生不良性貧血

4. 評価

- (1) 形成的評価：カンファレンスにおいてフィードバックを行う。
- (2) 総括的評価：EPOC2にて行う。